



株式会社 ファルマ

弘前市北横町 19-1

Tel 0172-37-6016(代)

発行：編集委員会

印刷：小野印刷

■ 第 192 号 ■

経営改善に向けての取り組みと課題

取締役事務部長 工藤 敏子

10月5日(土)、2024年度上期経営学習会が開催されました。最初に北海道勤医協の谷口和基専務補佐による「自己完結型から地域連携への機能転換の取り組みと今後の課題」と題した学習講演がありました。釧路協立病院は医師不足を理由に経営が悪化し、経営構造転換を図りました。その過程で内部的要因と外部的要因をしっかりと分析したうえで、地域で必要とされる自分たちの立ち位置や得意分野を明確にし、協議を進めていたの

が特徴的でした。釧路市内は本来医療介入すべき患者の受け皿の不足、在宅医療のニーズが高いことを明確にすることで、「地域医療連携型の医療」にシフトしていくことを決断することになります。自分たちが選んだ道として「コミュニティホスピタル」と銘打って大々的にアピールし、地域に求められている医療活動を皆で展開していく、このことが経営困難に立ち向かう強い力になると感じました。

次に健生病院竹内院長より「健生病院の経営改善・経営対策について」と題して報告がありました。経営改善のためのアクションプランが紹介され、釧路協立病院と同じように地域におけるポジショニングと方針を明確に打ち出して、協議を重ねていく必要があると思われました。最後に職種ごとにグループディスカッションを行い、経営改善に向けた活発な意見交換を行い、全体会で共有しました。



会場で学習講演を聴いている様子

写真紹介

10/5 城東クリニックへ出前講座

10月5日(土)、城東クリニック主催の出前講座が「お薬とサプリメントの飲み合わせ」をテーマに開催され、ファルマ弘前薬局の佐藤薬局長補佐が講義しました。参加者は16名で、今回は医師の方々にもご参加いただき緊張感のある出前講座となりました。



医師や看護師など多職種の方が参加しました

10/16 学び・生かすあおもりグループへ出前講座

10月16日(水)、青森県総合社会教育センター指定管理者 学び・生かすあおもりグループ主催の出前講座が五所川原市市浦コミュニティセンターにて開催され、ファルマ ーツ谷薬局の福井薬剤師が講義しました。参加者は16名で、お薬の正しい飲み方や使用方法などについて話しました。



参加者にわかりやすく話す福井薬剤師

11/2 県連ピースウォーク in 弘前城菊と紅葉まつり

11月2日(土)、県連青年委員会・ピースメイト小委員会主催のピースウォーク in 弘前城菊と紅葉まつりが開催されて、ファルマから8名参加しました。オリジナルタオルやグッズなどを活用し、交流しながら弘前公園(有料区域を含む)を1時間程度歩き、平和をアピールしました。



弘前公園の紅葉を見ながらピースウォークに参加しました

11/2 県共済モルック大会

11月2日(土)、青森県共済会交流モルック大会が青森市合浦公園で開催されました。ファルマからは2名が参加し、全国大会の切符をかけて5チームが競い合いました。優勝はできませんでしたが、わいわい楽しく競技することができました。



優勝を目指してモルックを楽しみました

10月19日(土)に開催された第46期認知症実践セミナーに参加し、認知症に対する考えや取り組み方が大きく変わってきたことを学びました。皆様は認知症に対してどう



自分らしく生き続けられるために

ファルマ浪岡薬局 薬剤師 平尾 悟

のような考えをお持ちでしょうか? 認知症になると何もわからなくなってしまう、自分らしさ、つまり本人の意思は失われてしまうと、しばしば誤解されがちです。しかし、「認知症の人と家族の会」の鎌田松代さんは、そうした考えは古い考えであると指摘しています。実際は認知症になってからも、一人ひとりが出来ること、やりたいことをもち、自

分らしさを失わず暮らし続けることは可能であると話されています。2023年6月に成立した「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」では、認知症の人と家族が自分らしく生きるための社会の在りようを網羅し、国民に対して認知症に関する正しい理解を深めるように推進しています。私も認知症の人と対面する際には、その方の意思を尊重できるように、丁寧に対話を重ねたいと思いました。

より良い職場づくりを目指すために

ファルマ浪岡薬局 薬局長 高橋 和希

10月5日(土) 県連薬剤師管理者研修が開催されました。2023年度は県連全体で15名の薬剤師が退職し、薬剤師確保が難しくなっている状況にあることから、今後の育成について考える研修でした。

職員育成指針のDVDを視聴したあとに、グループワークを行い、退職者を出さないための若手育成の取り組み、職場づくりについて意見交換しました。

私のグループでは、普段からの声かけなどのコ

ケアの倫理から見た社会や政治

弘前調剤センター 西沢 菜夏

10月23日(水)に青森県医連中期研修で、岡山県労働者学習協会会長の長久啓太氏より「ケアの倫理を学び、活かす」というテーマで講義がありました。

ケアの定義や扱われ方、ケアの倫理から見た社会や政治などについてお話がありました。人間は根源的にケアし、ケアされる存在であり、いつも誰かが誰かをサポートし支えています。しかしケアには市場価値がつきにくく、その責任を負わ

共感していただけたことで少しだけ心が軽くなりました。



グループワークで意見交換をしている様子



講義を受け、多職種で交流を深めました

や周りへの配慮がケア活動において最も重要だと感じました。

新入職員紹介



ファルマ弘前薬局 佐藤 峰子

10月1日よりファルマ弘前薬局で働いております。前職は介護職員として働いており、その時にファルマ弘前薬局と関わりがあ

りました。接した際にも親切・丁寧だと感じ、調剤事務は未経験ですが、働いてみたいと思いつた。ファルマ弘前薬局を志望しました。わからないこともたくさんありますが、皆さんからやさしく丁寧に指導していただき感謝しております。これから少しでも貢献できるように努力していきたいと思っておりますので、よろしくお願



ファルマ弘前薬局 雪田 美沙都

10月7日よりファルマ弘前薬局で働かせていただいております。雪田美沙都と申します。事務のお仕事は未経験ではありますが、早く仕事を覚えて、患者様の待ち時間短縮や、快適に過

ごしていただけるように、笑顔で素早い対応を心がけていきたいと思っております。特技はスノーボード・バドミントンで体を動かすのが好きですし、お菓子を作ることも大好きです。健康で長生きするためにもダイエットを始めましたので、応援よろしくお願

13才のわたし

ファルマ弘前薬局 薬剤師 田中 理久

13歳の私は小学校時代の毎日のポテチとファンタグレープにより巨大化。身長は小さかったのですが、青いジャージも相まってドラえもんのようなものでした。成長期で身長も伸びたのにも関わらず、中学入学時点と卒業時点で体重は1kgも増えておらず、どれだけ太っていたのだろうと今では恐ろしいです。

緊張しやすくせに目立ちたがりだった私は入学当初、新しいクラスメイトにいちよかましてやろうと学級会長になりました。しかし、その後の学園祭で後悔することになります。クラスの催し物でよさこいソーランを踊ることになりましたが、思春期の中学一年の男子です。みんながみんな真面目に踊ってくれるわけではありません。クラスの代表としての責任感から全員を真面目に踊らせようと思いますが案の定うまくいかず、人生唯一の悔し涙を流しました。先生やクラスメイトの助けもあって、なんとか学園祭は乗り越えることができましたが、人を動かすのはこんなにも難しいのだと子どもながらに感じた一年でした。ただこの悔しさが思春期の僕を強くしてくれたのだと思います。今ではいい思い出となりました。



中学生になり学級会長をしていた田中薬剤師(右)

季節のOTC



薬局の入り口に掲示し商品紹介をしています!(ファルマ弘前薬局)

朝晩肌寒くなっていますが、皆さん体調はいかがでしょう。今回はそんな寒さを吹き飛ばす、薬局の「秋」をご紹介します。秋といえば、紅葉、食欲、スポーツ……たくさんありますよね!ぜひ、薬局で「秋」を感じてみませんか? おすすめ商品を見やすいよう陳列しています!(藤代薬局)

